

# 副産物情勢

10月5日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内 容	備 考																								
内 臓	<p>1.国産牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年8月の成牛と畜頭数は、81.5千頭(前年同月比100.4%)と前年並みとなった。内訳を見ると、和牛35.6千頭(前年同月比99.8%)・交雑牛17.8千頭(同99.7%)とほぼ前年並み、乳牛去勢12.9千頭(同 98.3%)と前年をわずかに下回った。</li> <li>○ 令和3年9月の成牛と畜頭数は、速報値(9/30まで集計)で84.6千頭(前年比98.0%)で、前年をわずかに下回った。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構が9月28日に公表した牛肉の需給予測によると、10月の出荷頭数は和牛・乳牛の出荷頭数の減少により、前年を下回ると予測するとともに、3ヶ月平均(8~10月)でも、和牛・乳牛の出荷頭数の減少により、出荷頭数(前年同期比99.1%)・生産量(同98.5%)ともに前年同期を下回ると見込んでいる。</li> <li>○ 需要動向は、新型コロナウイルスの感染再拡大による緊急事態宣言等の影響で外食(郊外の焼肉店以外)が再び苦戦を強いられたことから、荷動きは直近数ヶ月で最も悪かった。また、輸入原料の価格高騰・品不足感でホルズ・経産牛への引き合いが強まっていたが、タン以外は競争の激化が見受けられない。</li> <li>○ 大阪食肉市場が10月15日と畜分から、東京食肉市場が10月18日と畜分から内臓仕切り価格を値上げ(緊急事態宣言前水準へ)改定することを公表した。</li> </ul>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年4月20日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月26日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>令和3年10月18日</b></td> <td><b>35/枝kg</b></td> <td><b>7/枝kg</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>※乳牛も同様35円/kg ※豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和2年4月20日	25/枝kg	5/枝kg	令和2年7月1日	35/枝kg	7/枝kg	令和3年1月25日	25/枝kg	5/枝kg	令和3年4月1日	35/枝kg	7/枝kg	令和3年4月26日	25/枝kg	5/枝kg	<b>令和3年10月18日</b>	<b>35/枝kg</b>	<b>7/枝kg</b>			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																							
	令和2年4月20日	25/枝kg	5/枝kg																							
令和2年7月1日	35/枝kg	7/枝kg																								
令和3年1月25日	25/枝kg	5/枝kg																								
令和3年4月1日	35/枝kg	7/枝kg																								
令和3年4月26日	25/枝kg	5/枝kg																								
<b>令和3年10月18日</b>	<b>35/枝kg</b>	<b>7/枝kg</b>																								
<p>2.国産豚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年8月度の全国の肉豚出荷頭数は1,326千頭(前年比104.4%)となった。8月の全国地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道103.3%、東北102.4%、関東102.7%、北陸甲信越102.2%、東海121.5%、近畿111.6%、中四国111.7%、九州・沖縄103.3%となった。</li> <li>○ 令和3年9月の全国と畜頭数は速報値で1,334千頭(9/30まで集計)で、前年同月比99.0%となっている。稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は63,505頭(前年実績:64,167頭/日、前年比△662頭/日)となっている。</li> <li>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年9月22日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和3年10月1,434千頭(前年同月比97%)、11月1,442千頭(同99%)、12月1,492千頭(同98%)、翌年1月1,418千頭(同100%)、同2月1,311千頭(同98%)で、今後5か月間合計頭数で前年比98.4%と前年をわずかに下回ると予測している。</li> <li>○ 需要動向は、赤物は焼き材・挽き材で好調、白物は煮込み材で小腸が好調に推移しているものの、ガツ・大腸は一部地域で荷余り感が出ている。</li> <li>○ 流通価格は外食以外の中食・内食需要が堅調なことから一定水準が維持され、特にタン・ハラミ・小腸は相場が高値推移している。</li> <li>○ 大阪食肉市場が10月15日と畜分から、東京食肉市場が10月18日と畜分から内臓仕切り価格を値上げ(緊急事態宣言前水準へ)改定することを公表した。</li> </ul>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年4月20日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月11日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月19日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>令和3年10月15日</b></td> <td><b>35/枝kg</b></td> <td><b>4/枝kg</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和2年4月20日	25/枝kg	3/枝kg	令和2年7月1日	35/枝kg	4/枝kg	令和3年1月25日	25/枝kg	3/枝kg	令和3年3月11日	35/枝kg	4/枝kg	令和3年4月19日	25/枝kg	3/枝kg	<b>令和3年10月15日</b>	<b>35/枝kg</b>	<b>4/枝kg</b>				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
令和2年4月20日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和2年7月1日	35/枝kg	4/枝kg																								
令和3年1月25日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和3年3月11日	35/枝kg	4/枝kg																								
令和3年4月19日	25/枝kg	3/枝kg																								
<b>令和3年10月15日</b>	<b>35/枝kg</b>	<b>4/枝kg</b>																								
<p>3.輸入牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年8月の全国と畜頭数によると牛肉輸入量は全体で53.8千ト(前年比113.9%、前月比103.3%)と前年をかなり上回った。内訳は、チルドが23.3千ト(前年比120.6%、前月比93.5%)、フローズンが30.4千ト(前年比109.3%、前月比112.4%)と、チルド・フローズンともに前年を上回った。前年同月の輸入量が、豪州での生産量の減少に伴う現地価格の高騰やコロナ禍による北米現地工場の稼働の停止等により、大きく減少したためである。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構が9月28日に公表した牛肉の需給予測によると、9月の輸入量は、チルド・フローズンともに前年を上回るものと見込んでいる。前年の輸入量が豪州の生産量の減少に伴う現地価格の高騰、およびコロナ禍による北米現地工場の稼働の停止等で、大幅に減少したためである。10月の輸入量は、チルドは前年が北米からの輸入量がコロナの感染拡大の影響で大きく減少したため、前年をわずかに上回り、フローズンは米国での現地価格の高騰等により、前年をわずかに下回ると予測する。</li> <li>○ 令和3年8月の冷凍輸入牛レバーは101.9ト(前年比167.0%・前月比83.5%)で、国別では米国66.0t、豪州33.7t、墨国2.1tであった。冷凍輸入牛腸は1,140.0ト(前年比129.3%・前月比71.6%)で、国別では米国723.9t、豪州170.0t、墨国177.1t、加奈陀68.0tとなった。</li> </ul>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年1月5日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月24日</td> <td>10/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚	令和元年7月22日	700/枚	10/枚	令和2年3月16日	500/枚	10/枚	令和2年6月15日	100/枚	10/枚	令和2年7月20日	100/枚	2/枚	令和2年9月28日	10/枚	2/枚	令和3年5月24日	10/枚	10/枚	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚																								
令和元年7月22日	700/枚	10/枚																								
令和2年3月16日	500/枚	10/枚																								
令和2年6月15日	100/枚	10/枚																								
令和2年7月20日	100/枚	2/枚																								
令和2年9月28日	10/枚	2/枚																								
令和3年5月24日	10/枚	10/枚																								
原 皮	<p>1.牛原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年8月の輸出実績は、42,925枚(前年比81.9%、前月比104.7%)で、15か月ぶりに前年を下回った。輸出平均価格は3,035円/枚(前年比+2,201円、前月比+274円)となった。国別実績は、タイ14,600枚(前年比51.2%)、ベトナム15,090枚(同83.2%)、韓国12,035枚(同962.8%)、香港1,200枚(同26.8%)、カンボジアは実績なしであった。一方、ウエットブルーの輸入は、11.6千枚(前年比135.4%、前月比65.5%)、牛大判皮は23.5千枚(前年比141.3%、前月比61.7%)となった。</li> <li>○ 海外情勢は欧米中の景気減速、半導体不足による自動車減産、テレワーク拡大による革靴需要の減少等で荷動きは弱含みであり、タンナーとの価格交渉が難航している。革製品相場と比較して原皮相場に割高感があるため、今後の流通価格は値下げに転じる可能性が高い。</li> <li>○ 国内情勢は緊急事態宣言等の影響で革製品需要が限定的のため、ホルヌキ原皮以外は品質差で優劣が付きやすい状況である。(=キズが多いと売れない)</li> </ul>	<p>4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月16日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月1日</td> <td>10/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚	令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚	令和2年3月16日	800/枚	10/枚	令和2年6月22日	300/枚	10/枚	令和2年7月27日	300/枚	2/枚	令和2年9月28日	10/枚	2/枚	令和3年6月1日	10/枚	10/枚
	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																							
令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚																								
令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚																								
令和2年3月16日	800/枚	10/枚																								
令和2年6月22日	300/枚	10/枚																								
令和2年7月27日	300/枚	2/枚																								
令和2年9月28日	10/枚	2/枚																								
令和3年6月1日	10/枚	10/枚																								
<p>2.豚原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年8月の輸出実績は、947,682枚(前年比97.8%、前月比89.6%)で、4か月連続で前年を下回った。輸出平均価格は631円/枚(前年比+356円、前月比+10円)となった。国別実績は、タイ720.4千枚(前年比111.6%)、ベトナム140.1千枚(同68.1%)、韓国17.4千枚(同69.3%)、カンボジア69.7千枚(同113.9%)、香港・フィリピン・台湾・ミャンマーは実績なし。</li> <li>○ 需給動向はタイ・ベトナム(輸出量シェア85%)での新型コロナウイルス感染状況が懸念材料ではあるが、同国でのロックダウン時も停滞することなく順調に出荷され続けている。しかし、中国でのスバック需要減少、製造工場での密回避・経費増加等から今後の流通価格は値下げに転じる可能性が高い。</li> </ul>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年8月1日</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月1日</td> <td>95</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月1日</td> <td>95</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月1日</td> <td>90</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>85</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和2年8月1日	95	95	令和2年9月1日	95	85	令和2年11月1日	95	80	令和3年2月1日	90	80	令和3年4月1日	85	80							
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
令和2年8月1日	95	95																								
令和2年9月1日	95	85																								
令和2年11月1日	95	80																								
令和3年2月1日	90	80																								
令和3年4月1日	85	80																								
レンダリング	<p>1.油脂等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9月渡しの国産食用加工油脂向け豚脂は80円/kg(据置き)、牛脂は85円/kg(据置き)となった。大豆油、菜種油、パーム油が高騰している中、世界的なバイオ燃料需要拡大の影響によりコロナ禍で食用需要が減退している状況ではあるものの、原料が飼料用・燃料用に流れる可能性も否定できないことから動物油脂の価格が値上がりする可能性が高い。</li> <li>○ 8月マレーシア産パーム油相場は、154円(据置き)で依然として高値推移している。7月生産量は前月比5.2%減、月末在庫は149万トン(前月比7.3%減)となり、在庫量は事前予想164万を下回り、市場に驚きを与えた。</li> <li>○ 8月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月・前年とも同様であった。工業用油脂は45円/kgと前月・前年とも同様であった。</li> <li>○ 8月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月・前年と同様の63円~66円/kg辺り。</li> </ul>																									